

# 公益財団法人平野政吉美術財団

## 令和3年度事業報告

### <総括>

令和3年度の事業については、当財団の目的に沿った活動を行った。美術館の指定管理については適切に実施した。

- ・展示公開事業は、常設展の他、企画展を2回、特別展を3回、開催。特別展「怖い浮世絵展」、特別展「秋田県誕生150周年記念 ルーヴル美術館の銅版画展」、特別展「生誕120年 木村伊兵衛回顧展」、企画展「藤田嗣治 秋田で見た建築と風景」、企画展「平野政吉コレクション 旅と風景」を開催した。
- ・教育普及事業は、年度を通して、講演会を2回、ワークショップを4回、美術館教室を4回行った。実施した事業に関しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、十分な感染防止対策を行った上で開催した。
- ・調査研究の成果は、展覧会に生かし、図録などへの寄稿で発表した。また、講演も行った。
- ・美術ホール運営事業は、秋田県主催、マスコミ主催などの展覧会など比較的規模が大きい展覧会が多く開催された。また、特別展「生誕120年 木村伊兵衛回顧展」の会場としても美術ホールを活用し、大規模な展観を実現した。  
秋以降は「秋田県工芸家協会展」や「秋田公立美術大学卒業・修了展」など毎年美術ホールを使用している団体が展覧会を開催した。
- ・売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

## I 展示公開事業

### (1) 常設展示事業

#### 常設展 平野政吉コレクションⅠ

- 1 会期 令和3年7月10日(土)～9月5日(日)
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 内容 藤田嗣治の妻・マドレーヌをモデルとした作品、中南米への旅取材した作品、および藤田が中南米旅行中に収集した品々を展観した。
- 4 入場者数 14,006人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅡ

- 1 会期 令和3年9月11日(土)～11月7日(日)
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 内容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治の室内を描いた油彩画やパリの風景を描いた版画、《秋田の行事》の素描を展示した。
- 4 入場者数 5,885人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 令和3年11月13日（土）～令和4年1月23日（日）  
※令和3年12月31日（金）～令和4年1月2日（日）は休館
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治の1930年代の代表作を中心に展示した。
- 4 入場者数 9,586人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅣ

- 1 会 期 令和4年1月29日（土）～4月3日（日）  
※令和4年3月14日（月）～3月23日（水）は休館
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、藤田嗣治の中国や沖縄に取材した作品を中心に展示した。
- 4 入場者数 1,850人

### (2) 企画展示事業

#### 企画展 藤田嗣治 秋田で見た建築と風景

- 1 会 期 令和3年5月15日（土）～7月4日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 1930年代に秋田を訪れた藤田の足跡を辿り、藤田ゆかりの建築や眺めたであろう風景、旅先で描いた作品、そして、自らも設計に携わり秋田で夢見た「まぼろしの美術館」についての模型や資料を展示した。
- 4 入場者数 2,113人

#### 企画展 平野政吉コレクション 旅と絵画

- 1 会 期 令和4年1月29日（土）～4月3日（日）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 平野政吉コレクションから、「旅」にまつわる作品を展示し、芸術家の旅に対する思いやまなざしを紹介した。
- 4 入場者数 1,695人

### (3) 特別展示事業

#### 特別展 怖い浮世絵展

- 1 会 期 令和3年7月10日（土）～9月5日（日）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 江戸時代の終わり頃、人々の間で、「怖いもの」に対する関心が高まってくるとともに、浮世絵師たちは、その豊かな想像力で恐ろしくおどろおどろしい怪異たちの姿を描き出していった。本展では、葛飾北斎や歌川広重、豊国、国芳、月岡芳年など、各時代を代表する浮世絵師達が描いた作品を展観した。
- 4 入場者数 14,006人

#### 特別展 秋田県誕生150周年記念 ルーヴル美術館の銅版画展

- 1 会 期 令和3年9月11日（土）～11月7日（日）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 数多くの名画を所蔵していることで知られるルーヴル美術館。その中でも特に歴史の深い銅版画「カルコグラフィー」について、ルーヴル美術館カルコグラフィー室が所蔵する貴重な原版の中から、日本での特別公開のために、当時の版を用いて刷られた銅版画を紹介した。
- 4 入場者数 5,885人

#### 特別展 生誕 120 年 木村伊兵衛回顧展

- 1 会 期 令和3年11月13日（土）～令和4年1月23日（日）  
※令和3年12月31日（金）～令和4年1月2日（日）は休館
- 2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 日本の写真史を代表する写真家・木村伊兵衛は 2021 年に生誕 120 年の節目を迎えた。本展は、木村の回顧展として、木村の本領である作品の数々、肖像や舞台写真、戦後の滞欧作品のほか、東京の下町や日本の地方に取材した作品などを紹介。秋田の農村を記録した作品も展示した。
- 4 入場者数 9,586人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

## II 教育普及事業

### (1) 講演会

#### 特別展「秋田県誕生 150 周年記念 ルーヴル美術館の銅版画展」関連講演会

- 1 演 題 「カルコグラフィーに見る西洋美術」
- 2 実施日 令和3年9月19日（日）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 中村隆夫氏（本展監修者・多摩美術大学教授）
- 5 内 容 西洋美術史をカルコグラフィー（銅版画）で辿りながら、作品の特徴や時代背景、作家についてお話していただくとともに、ルーヴル美術館の特性や所蔵品についても紹介していただいた。
- 6 参加人数 14人

#### 特別展「生誕 120 年 木村伊兵衛回顧展」関連講演会

- 1 演 題 「木村伊兵衛を語る」
- 2 実施日 令和3年11月13日（土）
- 3 会 場 にぎわい交流館 AU 多目的ホール
- 4 講 師 田沼武能氏（本展監修者・写真家）
- 5 内 容 木村伊兵衛の助手であった田沼氏に木村伊兵衛の人柄やエピソードを紹介していただいた。また、助手としての視点から木村の写真を解説していただき、参加者は熱心に耳を傾けていた。
- 6 参加人数 93人

### (2) ワークショップ・美術館教室・シェアギャラリー

#### ワークショップ「よしもと住みます芸人・きり亭たん方氏による「怪談落語」

- 1 実施日 令和3年7月11日（日）
- 2 会場 県民ギャラリー
- 3 講師 きり亭たん方氏（落語家）
- 4 内容 うどんの勘定をごまかす滑稽噺「時うどん」などの他、特別展「怖い浮世絵展」にちなんだ怪談落語「播州皿屋敷」を披露していただいた。
- 5 参加者数 94人

#### 美術館教室「水彩画講座～新県立美術館から旧県立美術館を描く～」

- 1 実施日 令和3年10月3日（日）、10日（日）、17日（日）
- 2 会場 ミュージアムラウンジ
- 3 講師 渋谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）
- 4 内容 小学生、中学生向けの水彩画講座として、3週にわたり旧県立美術館（現秋田市文化創造館）の風景を水彩画で描いた。
- 5 参加人数 5人

#### 美術館教室「手話による作品解説」

- 1 実施日 令和3年10月9日（土）
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 講師 手話通訳者、学芸員
- 4 内容 藤田作品を中心とした平野政吉コレクションについて、学芸員が手話通訳者を介した作品解説を行った。
- 5 参加者数 8人

#### ワークショップ「パスタマシンを使って版画をつくろう！」

- 1 実施日 令和3年10月23日（土）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 伊藤由美子氏（版画家）
- 4 内容 凹版画を制作する際に必要なプレス機をパスタマシンで代用し、版画の制作工程を体験する活動を行った。
- 5 参加人数 9人

#### ワークショップ「鶏卵紙プリント講座－古典写真技法の体験－」

- 1 実施日 令和3年12月18日（土）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 草薨裕氏（写真家・秋田公立美術大学大学院助手）
- 4 内容 19世紀に広く用いられた印画紙の一つである鶏卵紙。セピア色の風合いによるレトロな雰囲気の技法を体験し、いつもと一味違った写真を楽しんだ。
- 5 参加者数 7人

#### 美術館教室「館長講話 子どもの絵について－幼児のための美術教育－」

- 1 実施日 令和4年1月16日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 渋谷重弘氏（秋田県立美術館 館長）
- 4 内容 実際の子どもたちの絵を参考にして、未就学児の子どもが描く絵の特色や美術教育に関する事例、実践例を講話した。
- 5 参加者数 9人

#### ワークショップ「メキシコのくす玉、ピニャータをつくろう！」

- 1 実施日 令和4年2月19日(土)
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員
- 4 内容 メキシコ発祥のくす玉人形であるピニャータを、画用紙で作った型に折り紙やホイルシールなどで飾り付け制作した。
- 5 参加者数 4人

#### 美術館教室「太平山三吉神社梵天奉納 三吉節」

- 1 実施日 令和4年3月6日(日)
- 2 会場 レクチャールーム、大壁画ギャラリー
- 3 出演 進藤義声氏(三吉節保存会会長)
- 4 内容 《秋田の行事》に描かれている太平山三吉神社の梵天奉納。その梵天奉納時に歌われる三吉節を三吉節保存会会長の進藤義声氏に披露していただいた。
- 5 参加者数 24人

#### 第3回 個展のつどいシェアギャラリー

- 1 実施日 令和3年10月16日(土)～24日(日)
- 2 会場 県民ギャラリー
- 3 監修 渋谷重弘氏(秋田県立美術館 館長)
- 4 内容 個人や小規模団体が活動するアーティストの作品発表の場として県民ギャラリーを区画ごとに無償で提供した。
- 5 参加数 25組(個人・団体)
- 6 入場者 1,208人

### (3) トークセッション

#### 企画展「藤田嗣治 秋田で見た建築と風景」関連イベント

##### 「建築家のトークセッション」

- 1 実施日 令和3年6月13日(日)
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 出演 込山敦司氏(秋田県立大学准教授)、小杉栄次郎(秋田公立美術大学教授)
- 4 内容 旧県立美術館やまぼろしの美術館など《秋田の行事》と藤田嗣治にゆかりのある建築について、建物の構造や役割、作品との関わりなど建築家の視点からお話をいただいた。
- 5 参加者数 19人

#### 特別展「怖い浮世絵展」関連イベント

##### 「学芸員とABSアナウンサーによるトークセッション」

- 1 実施日 令和3年7月10日(土)、7月17日(土)  
※8月21日(土)は中止
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 出演 学芸員、林さくら氏(ABS秋田放送アナウンサー、7月10日の回)、  
太田英梨花氏(同前、7月17日の回)
- 4 内容 学芸員による作品の解説とともに、出演者が気になった作品をピックアップして背景や物語、伝承などについて紹介を行った。
- 5 参加者数 14人

#### (4) 学芸員によるギャラリートーク

##### 企画展「藤田嗣治 秋田で見た建築と風景」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和3年5月15日(土)、6月19日(土)
- 2 会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 19人

##### 特別展「ルーヴル美術館の銅版画展」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和3年9月11日(土)、10月16日(土)
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 15人

##### 特別展「生誕120年 木村伊兵衛回顧展」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和3年11月20日(土)、12月12日(日)、令和4年1月8日(土)
- 2 会場 県民ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 60人

##### 企画展「平野政吉コレクション 旅と絵画」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和4年2月12日(土)、3月12日(土)
- 2 会場 ギャラリー1・2
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 11人

##### 常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

- 1 実施日 令和3年4月3日(土)、5月1日(土)、6月5日(土)、7月3日(土)、8月7日(土)、9月4日(土)、10月2日(土)、11月6日(土)、12月4日(土)、令和4年1月8日(土)、2月5日(土)、3月5日(土)
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 139人

### Ⅲ 調査研究事業

#### 1. 展覧会図録

##### 論文

- ・佐々木佳苗「フジタのまなざし—中南米の旅を中心に」『フジター色彩への旅』図録、令和3年4月、ポーラ美術館

#### 2. 雑誌寄稿

##### コラム

- ・小泉俊貴「藤田と壁画「秋田の行事」」『美術の窓』No. 454、令和3年6月、生活の友社

#### 3. 新聞寄稿

## 展覧会紹介

- ・小泉俊貴「巨匠へのまなざし 木村伊兵衛回顧展から」全5回『秋田魁新報』、令和3年11月8日～12日

## 作品解説

- ・小泉俊貴「藤田嗣治《雪國の少女》、秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科込山敦司ゼミ「まぼろしの美術館 南側ホール再現模型」－企画展「藤田嗣治 秋田で見た建築と風景」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年5月26日
- ・佐々木佳苗「歌川国芳《相馬の古内裏・滝夜叉姫と大骸骨》、月岡芳年《新形三十六怪撰 老婆鬼腕を持去る図》」－特別展「怖い浮世絵展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年7月7日
- ・佐々木佳苗「レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」の銅版画、ジャック・リゴー「ルーヴル旧館正面の眺め」の銅版画、ヨハネス・フェルメール「レースを編む女」の銅版画」－特別展「秋田県誕生 150 周年記念 ルーヴル美術館の銅版画展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年9月8日
- ・小泉俊貴「木村伊兵衛《花見》、木村伊兵衛《お昼寝》」－特別展「生誕 120 年 木村伊兵衛回顧展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和3年12月22日
- ・佐々木佳苗「二世五姓田芳柳《風景（粟津啜膳所）》、五姓田義松《溪流》」－企画展「平野政吉コレクション 旅と絵画」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和4年1月26日

## 4. 講演会

- ・佐々木佳苗「世界の宝・藤田嗣治を知る～講話&トークセッション～」(秋田 BLC 卒業生の会(秋田魁新報社)講演会、令和3年7月22日)

## IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

### 1. 事業内容

- ① 県民ギャラリーの利用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ② 美術ホールと展示室を併せて使用する大型の特別展事業を行った。
  - ・特別展「生誕 120 年 木村伊兵衛回顧展」では3階展示室と美術ホールを使用しての展示を行った。
  - ・児童・生徒の美術館について理解を促すため、セカンドスクール利用の一環として、美術ホールの催し物と展示室の企画展や特別展をあわせて鑑賞する機会を設けた。

### 2. 実績

総入場者数 49,719 人

## 主な使用履歴

- ・第63回 秋田県美術展覧会 写真部門展示 主催：秋田魁新報社  
令和3年6月25日(金)～30日(水) 入場者数：1,431人
- ・MINIATURE LIFE 展～田中達也 見立ての世界～ 主催：「MINIATURE LIFE」展実行委員会  
令和3年7月16日(金)～8月29日(日)、入場者数：21,472人
- ・令和3年度秋田公立美術大学附属高等学院生徒作品展 第69回 明日のクリエイターたち  
主催：秋田公立美術大学附属高等学院  
令和4年2月5日(土)～9日(水)、入場者数：616人
- ・秋田公立美術大学卒業・修了展 2022

「いつもの中に、「！」は潜んでいる。“Discovery” is hidden in the everyday.]

主催：秋田公立美術大学

令和4年2月16日（水）～20日（日）、入場者数：1,311人

・第61回 全県新年書きぞめ展 主催：(有)書友社

令和4年3月4日（金）～6日（日）、入場者数：837人

## V売店事業

### 1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵の販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。
- ・ポーラ美術館開催「フジター色彩への旅」展（令和3年4月17日～9月5日）  
ポーラ美術館ミュージアムショップへ委託販売

### 2. 実績

・売り上げ総計                    16品            1,883枚

内訳

《秋田の行事》レプリカ                    266枚

《秋田の行事》額絵                        41枚

絵はがき14種                                1,576枚